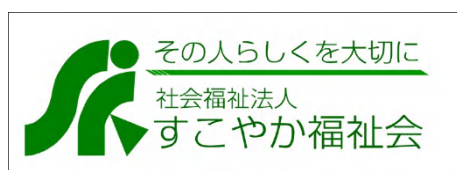


すこやか福祉会 2019年度事業活動報告



2020年6月17日
社会福祉法人すこやか福祉会評議員会



1. 法人概要

■法人設立の目的・趣旨・経営方針

社会福祉法人すこやか福祉会の設立は、四ツ木診療所（医療法人健和会）の職員保育所として出発した無認可保育所「竹の子保育所」と同じく無認可保育所の「東金町保育園」が一緒になって認可保育園開設にむけて取り組み、「産休明けから預かる保育園を」と願う若い親たちと働きつづけることの大切さを感じ取っていた地域住民の方々の協力で葛飾区東金町に開設した「こぼとの森保育園」が原点です。

1998年（平成10年）2月に社会福祉法人の認可を得て今年で22年となりますが、運営する事業所数はこの数年で介護人材不足による事業所閉鎖が数ヶ所あり46ヶ所（2020年6月現在：分室・サテライト含む）となりました。

法人設立から今日に至るまで、私たちは一貫して「安心して住みなれた地域に住み続けられること」をめざして、医療法人（健和会、健愛会、南葛勤医協、アカシア会）や学校法人（東都医療福祉学院）、特定非営利活動法人（たんぼぼ会、三郷おあしす会）など東都保健医療福祉協議会を構成する多くの法人との連携を強め、医療と福祉のネットワークづくりに努力してきました。また、社会福祉法人のもつ高い公共性から社会貢献をめざし、子どもからお年よりまで病気であっても障がいを持っていても、安心してすこやかな生活をおくることのできる福祉サービスを提供できるよう事業活動を展開してきました。

「法人の基本理念」に沿って、これからも福祉サービスを必要とする人々が、社会、経済、文化その他のあらゆる活動に参加する機会を得ることができるよう、総合的で質のよいサービスの提供をめざします。

すこやか福祉会の理念

1. 私たちは、命と人権をなによりも大切にします。福祉・介護サービスの提供にあたって、自立支援を重視し、安全に努め、その人らしく生きていくことを支援します。
2. 私たちは、国内外の福祉・介護サービスの実践と研究の成果に学び、サービス内容の改善充実に努めるとともに、病気や障害をもつ人々の生き方に共感し、ともに学び成長する職員の育成に努めます。
3. 私たちは、公共性の高い非営利の事業体として、事業内容の透明性を高め、情報の公開と共有を基礎に、民主的な運営と健全な経営に努めます。また、職員がやり甲斐と生きがいをもって生き生きと働きつづけられる職場づくりをめざします。
4. 私たちは、保健・医療・福祉の充実と地域に根ざしたネットワークづくりに努めるとともに、地域住民と交流を深め、理解と参加・協力を得るよう努めます。また、人間が大事にされ、安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献していきます。
5. 私たちは、地域の子どもの成長発達を守り、保護者と共同で、ひとり一人を大切にその子らしく生きる力を育むことを支援します。

■法人設立 1998年（平成10年）2月27日

■本部所在地 〒125-0051 東京都葛飾区新宿三丁目4番10号

■実施事業
 第一種社会福祉事業 特別養護老人ホーム、都市型軽費老人ホーム
 第二種社会福祉事業 保育所、放課後児童健全育成事業、一時預かり事業
 通所介護、認知症対応型共同生活介護、訪問介護
 障害者福祉サービス事業、移動支援事業、短期入所
 小規模多機能型居宅介護
 公益事業 居宅介護支援、グループリビング、地域包括支援センター

2. 事業概要

■事業地域 東京都（葛飾区・足立区・墨田区・港区・江戸川区・江東区）埼玉県（三郷市・八潮市）

■事業規模 年間収入 約34億円（2019年度）

■事業所数の推移（各年度末時点）

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
保育園	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3
学童保育					1	2	2	2	3	3	4	4	4	3	3	3	3	4	4	4
特養ホーム		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
デイサービス		1	2	3	5	6	9	9	9	9	9	9	8	8	6	8	8	8	8	8
訪問介護					1	2	13	13	12	13	13	13	13	13	13	17	15	15	15	13
訪問入浴							1	1	1	1	1	1	1	1						
GH		1	1	1	4	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
認知症デイ							1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
小規模多機能									2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
看多機													1	1	1	1	1	1		
居宅介護支援						1	1	1	1	1	2	2	3	3	4	4	4	3	2	2
地域包括									1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
訪問看護ST													1	1	1	1	1	1		
ケアハウス													1	1	1	1	1	1	1	1
GL						1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
合計	1	4	5	6	13	20	36	36	40	41	46	46	49	49	47	53	51	51	48	46

*地域包括支援センター分室・訪問介護サテライト営業所も1事業所としてカウント

■2019年度開設事業所（なし）

■2019年度移転・名称変更事業所（1ヶ所）

○ファミリーケア船堀（訪問介護） ※ファミリーケア葛西から名称変更・移転
2019年5月1日開設 東京都江戸川区東小松川4-45-1-1F

■2019年度閉鎖事業所（1ヶ所）

○ファミリーケア新小岩（訪問介護） ※翌月、ファミリーケア船堀に統合
2019年4月30日閉鎖

■職員数 734.5名（2019年度月平均）

年度末時点	2019年度	2018年度	前年差	前年比	2017年度	2016年度
職員数合計	718.0	746.0	▲28.0	96.2%	734.0	727.7
（常勤職員）	265.0	264.0	+1.0	100.4%	253.0	244.0
（非常勤職員）	453.0	482.0	▲29.0	94.0%	481.0	482.9
※常勤換算	522.8	529.3	▲6.5	98.8%	518.8	542.0
離職率：介護	14.0%	14.3%	▲0.3%	97.9%	13.8%	15.4%
離職率：保育	16.9%	17.3%	▲0.4%	97.7%		

3. 2019年度の運営概要

■法人役員（2020年3月31日現在）

理事6名（定数6～8名） 理事長 中山 美千代
常務理事 菊地 雅彦
理事 新井 敦子 : 軽費老人ホームケアハウスかねがふち施設長
天野 義久 : 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷施設長
小笠原 光雄 : 葛飾健康友の会事務局長
紺野 伊久子 : 保育事業部長
監事2名（定数2名） 監事 畑中 大吾 : 社会福祉法人東京さくら福祉会常務理事
渡邊 史朗 : 医療法人財団健愛会専務理事

■評議員（2020年3月31日現在）

評議員9名（定数7～9名） 阿部 孝史 : 医療法人社団はたがや協会常務理事
伊藤 俊夫 : すこやか福祉会を支援する会会長
入江 徹 : 社会福祉法人いきいき福祉会理事
佐々木 史子 : 社会福祉法人なの花会理事長
対馬 眞代 : こぼとの森保育園保護者OB
中野 三代子 : 一般社団法人幸樹会代表理事
堀口 千恵子 : 元こぼとの森保育園園長
三井 亨 : 社会福祉法人三多摩福祉会常務理事
横山 直城 : 城南保健生活協同組合専務理事

■評議員会の開催（2019年4月1日～2020年3月31日）

定時評議員会 6月19日（水） 16:00～16:55、千住曙共同会館1階会議室（9人中6人出席）
議題 2018年度事業活動報告、2018年度計算書類報告、会計監査人及び監事監査報告
資産登記の変更、役員（理事・監事）の選任

臨時評議員会 3月26日（木） 書面同意議決（評議員9人全員同意）

議題 2019年度補正予算、2020年度事業活動計画、2020年度予算

■理事会の開催（2019年4月1日～2020年3月31日） 8回開催（定時：6回、臨時：2回）

第1回定時 5月8日（水） 9:30～11:40、千住曙共同会館1階会議室（7人全員出席）
議題 設備投資・備品購入、管理者人事、夏期一時金回答額

- 小規模多機能型居宅介護支援事業所公募への応募
- 第2回臨時 6月 4日(火) 9:30~10:50、千住曙共同会館 1階会議室 (7人中6人出席)
 議題 2018年度事業活動報告、2018年度計算書類報告、会計監査人及び監事監査報告
 資産登記の変更、次期役員候補者推薦、夏期一時金資金の借入、管理者人事、
 2019年度第2次予算、2019年度定時評議員会開催の件
- 第3回臨時 6月 19日(水) 16:55~17:00、千住曙共同会館 1階会議室 (6人全員出席)
 議題 理事長・常務理事選任、設備投資
- 第4回定時 7月 3日(水) 9:30~11:00、千住曙共同会館 1階会議室 (6人全員出席)
 議題 管理者人事、2020年度外国人留学生・学業保障生受け入れ
 苦情対応第三者委員会開催の件、介護職員特定処遇改善加算
 組織機構図(定款施行細則別表6)改定
- 第5回定時 9月 4日(水) 9:30~11:10、千住曙共同会館 3階会議室 (6人全員出席)
 議題 設備投資・備品購入、管理者人事、保育事業部職員アンケート結果
 協立医師協金融互助会積立、障がい者雇用賃金規定改定
 障害福祉サービス特定処遇改善加算算定に伴う賃金改定
- 第6回定時 11月 6日(水) 9:30~11:30、千住曙共同会館 1階会議室 (6人全員出席)
 議題 設備投資・備品購入、管理者人事、介護職員等特定処遇改善加算見直し
 年末一時金回答・支給額、年末一時金の金融機関借入
 第2次5カ年計画策定の件、法人イメージキャラクター
 上半期経営報告と下半期の経営課題
- 第7回定時 1月 8日(水) 9:30~11:20、千住曙共同会館 1階会議室 (6人全員出席)
 議題 管理者人事、2019年度経営報告と2020年度予算編成方針
 3月臨時評議員会決議の省略、介護事業運転資金借入、保育事業部就業規則改定
 保育園副食費徴収での重要事項説明書記載
 非常勤(介護職・介護補助職・事務総合職・現業職)時給改定
- 第8回定時 3月 4日(水) 9:30~11:10、千住曙共同会館 1階会議室 (6人全員出席)
 議題 管理者人事、設備投資・備品購入、2019年度経営報告と2019年度補正予算承認
 2020年度事業計画、2020年度第1次予算、経理規程改定
 八潮かえで保育園・野のはな保育園運営規定改定
 かばらデイサービスセンター廃止、こぼとの森保育園保育所施設整備積立金計上
 2020年春闘要求回答、外国人留学生の都社協就学資金借入に関する法人保証

■会計監査人<協働公認会計士共同事務所>往査の状況 (2019年4月1日~2020年3月31日)

往査日				往査場所	監査実施内容
2019	4	17	水	本部事務局	期末監査
2019	6	3	月	本部事務局	期末監査
2019	8	2	金	本部事務局	監査計画説明 統制評価(会計入力、支払管理、人件費管理、寄附金管理)
2019	10	11	金	野のはな保育園	統制評価(小口現金、事業未収金、支払管理、その他)
2019	10	23	水	本部事務局	中間決算概況把握 統制評価(固定資産管理、職務分掌・稟議書閲覧、運用テスト)
2019	12	11	水	かなまち福祉の家	統制評価(小口現金、事業未収金、支払管理、その他)
2020	1	14	火	葛飾やすらぎの郷	統制評価(小口現金、事業未収金、支払管理、その他)
2020	3	27	金	本部事務局	決算前打ち合わせ、監査指摘事項フォロー等 寄附金管理、本部統制評価のフォロー、運用テスト

■監事監査の開催（2019年4月1日～2020年3月31日） 1回開催（監事2人全員出席）

6月 3日（月） 11:00～11:30、千住曙共同会館3階面談室

■苦情対応第三者委員会の開催（2019年4月1日～2020年3月31日） 1回開催（委員4人全員出席）

7月17日（火） 14:00～17:00、千住介護福祉専門学校5階講堂

①保育事業部運営に関する職員アンケート結果 ②苦情事例報告

■評議員選任・解任委員会の開催（2019年4月1日～2020年3月31日） 未開催

4. 2019年度事業活動のまとめ

①経営基盤の強化と経営改善に向けた次代を切り開く経営体質づくり

○経営基盤の強化と経営改善に向けた「二つの転換」

人材確保が困難なため収益増や新規事業に踏み込めない中、必要利益の確保に向けた「二つの転換」（①赤字慣れから脱却し、すべての事業、事業所等で経営改善・黒字化をめざすという発想の転換、②経営改善に向けて、従来の延長線上にとどまらない取り組みへの転換）を提起し、取り組んできました。

今年度は小規模多機能やグループホームなどの一部事業所での前進がありました。通所介護全体で開設以降初めて赤字になるなど法人全体では後退しましたが、2015年度からの5期連続の黒字は維持することができました。通所介護では経営改善対策として、入浴特化型や運動特化型などの半日デイを検討しましたが、実現には至りませんでした。また、開設2年目を迎えた野のはな保育園は幼児クラスが埋まらず、年度当初は53名（定員80名）でスタートしました。2020年度は今年度同様に「二つの転換」を重点課題として取り組むことが求められます。特に、通所介護と居宅介護支援事業所、特養などでの経営改善がポイントです。

○地域福祉の主たる担い手として期待される社会福祉法人としての進路を定める第2次5カ年計画の策定

情勢や政策動向、地域の要求を見極め、地域における法人の立ち位置を明確にし、事業所再編、新規事業への挑戦など新たな5カ年計画に位置づけ、下半期より検討を開始しました。第2次5カ年計画は今後1年間検討し2021年度スタート予定で準備を進めます。

○計画的・継続的な事業を管理・遂行できる経営体質づくりと組織統治（ガバナンス）の確立

社会福祉事業経営は費用の70%超を人件費が占める構造のため、文字通り職員の働き方と意欲に左右されます。そのため、法人理念を理解し、経営を守る視点も踏まえた管理・マネジメントを担う管理者の役割・配置が重要です。今年度はエリア制の浸透・徹底に重点を置き一定前進することができましたが、組織統治の確立をめざして更なる検討・実践へのチャレンジが必要です。

2020年2月頃から新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大という憂慮すべき事態が進行しています。衛生材料の不足だけではなく、くらしや生活に及ぼす影響が深刻です。また、事業所内感染防止対策の徹底や蔓延した場合の経営に対する影響も無視できません。今年度は災害対策としての「事業継続計画」の重要性は理解しつつも作成には至りませんでした。早急に危機管理対策や感染対策の具体化と対応が必要です。

○労働時間法制の見直しに対応した労務・賃金諸制度の整備と働き方改善

同一労働・同一賃金の原則に沿って様々な観点から具体化を検討してきました。一部整備を進めることができましたが、まだ未着手の部分があり引き続き整備を進めていきます。

6月から訪問介護の1日所定労働時間を8.0hから7.5hに変更（試行実施）し、他の介護事業の所定労働時間に合わせました。当初は残業時間が増えることを想定しましたが、実施以降肩下がり減少し、創意工夫と職員の奮闘により実施前よりも少なくすることができました。また、他の事業と労働時間を合わせたことにより、事業を超えた相互応援も可能になりました。2020年6月から本



実施の予定です。

②社会福祉法等の関連法令だけでなく、法人理念や諸規程に遵守したコンプライアンスの徹底

○関連法令や社会的ルールの遵守などコンプライアンス教育の徹底と体制の構築、マニュアルの策定
法令遵守委員会を毎月開催し、日常的に整備を進めることができました。各サービス事業のコンプライアンス・サービス向上委員会も定期開催しましたが、エリアとのかかわりでの整備が課題となっています。

○経営理念や「めざす職員像」の浸透をはかり、私たちがめざすべき方向の一致をはかる

「民医連の綱領と歴史」パンフレット学習を全事業所で進め、私たちがめざすべき方向の一致をはかることができました。特に、あまり民医連とはあまり縁のなかった保育事業部での学習の取り組みが大きく進み、新たな発展期を作り出す礎ができました。

③常に利用者の立場に立った良質かつ適切な福祉サービスの提供

○サービス提供方針などの明文化と職員に浸透、共有する取り組みの実践

質の高いサービスの提供を実践し、利用される方々の満足度の向上を図る取り組みが重要です。この間、相手の立場を考えて行動することができる心ある職員となることをめざし、言葉遣いや対応についての実践的な学習に取り組みました。引き続き、職員の接遇能力の向上を図る必要があります。また、作成した基準を職員に浸透させ、共有できるものにしていくことが求められます。

今年度は感染対策研修会と安全運転研修会を実施することができました。感染対策研修会は、各事業所の役職者が参加し事業所で伝達講習をするルールでしたが、実施していない事業所もあり、感染が発生時に生かせなかったのが課題として残りました。安全運転研修会は、健和会と合同で実施しました。残念ながら2回の予定が新型コロナウイルス感染症の影響で1回しか実施できませんでしたが、次年度も計画予定です。次年度は事故件数減少を目標とします。

○日常的なリスクマネジメントと重大事故が起こった際の対応ルールの確立、リスクマネジャーの配置

11～12月に開催された経営協の「初級リスクマネジャー養成講座」に3名参加しました。福祉サービスでのリスクマネジメントは、利用者満足度の向上や利用者の安心と安全を守る適切なサービス提供を実現することが目的です。万一の事故の際もすばやく適切な要因分析や手順改善等の対応ができるリスクマネジャー配置に向けた第1歩となりました。

○利用者や家族等からの苦情や相談に誠意を持った的確な対応と第三者委員会の機能整備

苦情対応第三者委員会は今年度も1回しか開催できませんでしたが、委員会では保育事業部職員アンケート結果をもとに、職場づくりや子ども・保護者とのかかわり方などの課題を明確にすることができました。

④私たち自らが主体となった平和・社会保障拡充に向けた運動

○憲法を守るたたかいの一層の前進 憲法改悪の本質を学び、憲法を守る運動の前進が一番の課題

「民医連の綱領と歴史」パンフレット学習を進める中で、平和憲法の重要性を各職員が認識することができました。原水禁世界大会への代表派遣や沖縄支援行動に多くの職員が参加しました。

○様々な事例から学び、地区協等に結集し、制度改善＋報酬改善＋処遇改善に結びつける取り組み

日常の実践の中での「気づき」を大切にし、利用者・園児などを守るために要求化を行ってきました。全体としては取り組みが弱かった部分もありましたが、「介護ウェーブ署名」や「特養あずみの里裁判署名」「乳腺外科医冤罪事件」に全事業所で取り組むことができました。

金町地区の学童保育増設の請願は区議会で継続審議になりましたが、学童保育クラブの保護者会や職員が中心となって過去に経験したことのない創意工夫のある大きな署名運動を展開し、2022年度に金町小学校校区に開設を勝ち取ることができました。

⑤「住みなれたまちで」の理念を追求した地域における公益的な活動と連携

○協議会内にとどまらず、地域や住民組織、他法人との連携も視野に入れた取り組み

地域の小中高校や学童保育所からの要請や連携で「介護体験」教室の取り組みが進んでいます。また、他の社会福祉法人との合同研修や地域の一般企業との連携など新たな活動が始まりました。三郷市では在宅医療・介護連携推進協議会から委員選出要請に応え、研修部会と広報啓発部会にそれぞれ委員を送り出し、講座の講師などを担いました。今後も引き続き行政や住民組織などを巻き込んだ新たな活動を検討していきましょう。

- 金のあるなしで差別されないための取り組み（法人独自減免制度の活用や住まい支援、福祉相談等）
今年度法人内にSW部会が確立し、ソーシャルワークの視点を持った取り組みを全職員に伝えていく足掛かりができました。今後の活動に大いに期待するところですが、今年度は法人独自減免制度の活用はあまり広がりませんでした。福祉（介護・保育）相談に結び付けることができるような職員の「目とかまえ」が重要です。
- 地域の子どもの貧困や子育て相談、高齢者との交流など、事業部を超えた連携強化
各エリアでの保育事業と介護事業の交流や相互支援など大きく前進しました。金町での子ども食堂「カフェひろば」も定着してきました。ただ、業務とボランティアの区分けなど新たな課題が出てきています。
- 職員の認知症サポーター養成講座受講促進や地域の子育て支援など社会福祉事業の取り組み
埼玉エリアでは独自の目標をもって職員の認知症サポーター養成講座受講に取り組み、職員の受講率が75%に到達しました。足墨エリアでは職員が講師となり計画的に実施しました。保育事業部は、保育園がそれぞれの地域で子育て支援などの地域活動参加の取り組みが必要です。

⑥新たな発展期を作り出すための社会福祉事業や公益事業などの整備と拡充

- 私たちの事業の成否がかかる良質な人材の確保と育成
人材確保は前年度に引き続き厳しい1年でしたが、保育事業部で採用委員会を立ち上げるなど新たな取り組みが始まりました。離職率はこの間の職場づくり等の取り組みの中で引き続き低い状況を維持することができましたが、人材不足は続いています。
昨年度に引き続き今年度も学業保障生3名を受け入れ計5名となり、昨年度の2名は2020年4月に新卒採用となりました。2020年4月入学予定の外国人留学生2名を受け入れることを決め、その準備を足墨エリアが中心となって進めました。
2020年1月より非常勤介護職員の時給設定を変更しました（一時金を時給にシフト）。
- 「効率化」の視点から現在の業務の流れを見直し、生産性の向上に向けた省力化対策
人材不足を補い省力化のためにICT化を進め、今年度はやすらぎの郷・新宿デイ・ケアハウスで新システムを導入しました。引き続き他の事業所でも検討します。
- 企業主導型保育や介護保険事業計画に基づく新たな事業へのチャレンジと事業再編
今年度は、三郷市での企業主導型保育を検討しましたが収支面で実施計画は進んでいません。また小規模多機能サービスサテライト事業所の開設をめざしましたが、選定されませんでした。事業再編では、人材不足の影響で、訪問介護の江戸川区の2事業所が合同移転し、葛飾区のサテライト事業所を閉鎖しました。

⑦法人運営の新たな段階をめざして

- 経営幹部の継続的な保全・配置・養成
6月理事改選では一部しか幹部交代が進みませんでした。事務総合職の管理職登用を行うなど幹部養成は継続して行いました。2021年度から始まる第2次5カ年計画を実践する上で、保育や介護現場、外部からの大胆な登用については引き続きの課題です。
- エリア事業部制（葛飾・足墨・湾岸・埼玉）の浸透と拡充、協議会内外の他法人との連携
2017年10月にエリア事業部制に移行して2020年3月末で2年半が経過し、各エリアでの会議や事業運営などが定着してきました。基準化や権限の明確化などの課題は残っていますがエリアマネージャーの成長など一定前進することができました。

5. 2019年度活動研究発表・実践報告・研修講演活動

- ①東都保健医療福祉協議会学業保障制度職員研修：4月1日
『「民医連」ってなに？』『東都協議会』ってなに？所属する組織と働く職場の概要』
常務理事 菊地 雅彦
- ②東京民医連看護介護活動研究交流集会（CW府中）：6月23日
「その人らしい生活を最期までおくらせてほしい～ターミナルケアを支える他職種連携」
GHかねがふち 沼田 和夫

- ③東京民医連看護介護活動研究交流集会（府中）：6月23日
「我々の強みを活かした元気クラブ～地域との連携～」小多機葛西みなみ 吉野 正登
- ④東京民医連医療介護活動運動交流集会（東医健保会館）：7月27日
「2週間で変わった自立支援」 デイかねがふち 江川 慎吾
- ⑤東京民医連医療介護活動運動交流集会（東医健保会館）：7月27日
「家族、他職種と共に看取るということ～家族と他職種とホームの連携～」
GHかなまち オズバイ 周子
- ⑥東都保健医療福祉協議会役員・評議員・管理者合同集会：7月27日
「すこやか福祉会通所介護『自立支援』の取り組み」 かばらデイ 吉井 暁
デイかなまち 松村 佐知子
デイみたて 平島 真理子
- ⑧第51回全国合同保育研修集会乳児のあそび分科会（愛知）：8月3日～5日
「友達だからこそ味わえる楽しさを知ってほしい」八潮かえで保育園 渡辺 雄
柴田 由紀子
- ⑨全日本民医連認知症懇話会（岡山）：9月27日～9月28日
「後悔しない為の家族への支援」 FC船堀 長谷川 美保子
- ⑩全日本民医連認知症懇話会（岡山）：9月27日～9月28日
「私がよりみちで自分らしくいられる理由」 デイよりみち 杉原 美代子
- ⑪全日本民医連認知症懇話会（岡山）：9月27日～9月28日
「生と人と心と夢」 GH青戸 紙屋 友信
- ⑫全日本民医連第14回学術運動交流集会（長野）：10月11日
「地域小学校における介護体験教室の実験」 湾岸AM 中野 一仁
- ⑬全日本民医連第14回学術運動交流集会（長野）：10月11日
「2週間で変わった自立支援」 葛飾AM 江川 慎吾
- ⑭全日本民医連第14回学術運動交流集会（長野）：10月11日
『子ども食堂への参加』～始めるきっかけ、今後の課題～
デイかなまち 宮本 裕子
- ⑮全日本民医連第14回学術運動交流集会（長野）：10月11日
「通所介護におけるプログラムの見直し」 デイみたて 湯田 達也
- ⑯三郷市在宅医療・介護連携推進協議会ミニ講座（瑞沼市民センター）：10月19日
「医療や介護が必要になったらどうしたらいいの？」 デイ采女の里 笠井 由美
- ⑰三郷市在宅医療・介護連携推進協議会ミニ講座（鷹野文化センター）：11月9日
「医療や介護が必要になったらどうしたらいいの？」 FCみさと 猪瀬 茜
- ⑱協議会介護活動交流集会：11月16日
「未来のために伝えよう！介護の魅力とチカラ！」 本部事務局次長 中村 寛史
- ⑲21・老福連 全国職員研究交流集会：11月30日～12月2日
「好きなものをいつまでもおいしく食べる～自立支援～」
葛飾やすらぎの郷 伊藤 慎二
- ⑳21・老福連 全国職員研究交流集会：11月30日～12月2日
「幸せだった最期の時～安らかな見取り～」 葛飾やすらぎの郷 古宮 英郎
- ㉑東京民医連経営検討会（CW府中）：12月8日
「未来のために伝えよう！ケアワーカーの魅力とチカラ！ケアワーカー魅力発信委員会（CMH）の
取り組み」 本部事務局次長 中村 寛史
- ㉒東都保健医療福祉協議会事務活動交流集会：1月25日
「ケアワーカー魅力発信委員会（CMH）事務局としての取り組み」
本部事務局次長 中村 寛史
- ㉓東京都社会福祉協議会年齢別学習会（0歳児）：1月27日
「0歳児の担当制について」 八潮かえで保育園 島本 由美恵

②④ 2 1 ・老福連 施設長管理者会議：2月2日～2月3日

「外国人雇用の取り組み」

葛飾やすらぎの郷 天野 義久

②⑤ 千葉民医連介護分野職責者・管理者研修（幕張）：2月18日

「安全・危機管理・事故対応」

埼玉AM

落合 直人

6. 法人の沿革

- 1998年 2月 社会福祉法人すこやか福祉会 法人認可
※初代理事長：内村 逸郎（初代常務理事：深沢 大三）
- 4月 こばとの森保育園（定員65名）開園（葛飾区東水元）
- 1999年 7月 特養ホーム等高齢者施設づくりをすすめる会 発足
※のちの、すこやか福祉会を支援する会
- 2001年 4月 こばとの森保育園 増築（定員80名）
特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 開設（葛飾区新宿）
（定員：入所80名、ショートステイ16名）
特養併設新宿在宅サービスセンター（定員20名）開設（葛飾区新宿）
- 5月 グループホーム福さん家 開設（墨田区吾妻橋）定員9名
- 2002年 8月 かばらデイサービスセンター 開設（足立区東和）定員30名
※医療福祉複合施設（医科・歯科診療所併設）
- 2003年 3月 ※理事長交代 第2代：増子 忠道（常務理事交代：竹森 チヤ子）
- 5月 在宅サービスセンター葛西 開設（江戸川区南葛西）定員15名
※医療福祉複合施設（医科診療所併設）
- 2004年 1月 あおと福祉の家 開設（葛飾区青戸） ※福祉複合施設
グループホーム青戸（定員18名）
デイサービスセンターすこやか（定員30名）
ファミリーケアすこやか：訪問介護 3事業所開設
- 4月 金町学童保育クラブ（定員57名）開設（葛飾区東金町）
- 6月 グループホーム千住大川 開設（足立区千住大川）定員18名
- 1 2月 かなまち福祉の家 開設（葛飾区東金町） ※福祉複合施設
グループホームかなまち（定員9名）
デイサービスセンターかなまち（定員30名） 2事業所開設
- 2005年 4月 つばさ学童保育クラブ（定員30名）開設（葛飾区金町）
- 6月 ファミリーケア芝：訪問介護 開設（港区新橋）
- 9月 ケアサポートセンターみたて：居宅介護支援 開設（港区港南）
- 1 1月 グループホームかねがふち（定員9名）開設（墨田区墨田）
※医療福祉複合施設（医科診療所併設）
- 2006年 1月 すこやかの家みたて 開設（港区港南） ※福祉複合施設
グループホームみたて（定員18名）
デイサービスセンターみたて（定員15名）
高齢者グループリビングみたて：高齢者住宅（8室）
ファミリーケアみたて：訪問介護 4事業所開設
ケアサポートセンターみたて：居宅介護支援 移転
- 5月 ※理事長交代 第3代：竹森 チヤ子（常務理事交代：田制 昭平）
- 5月 東京都港区高齢者集合住宅生活援助員業務受託
- 8月 株式会社ファミリーケアから東京都内事業所運営移管により14事業所開設
千住大川デイサービスセンター（定員30名）（足立区千住大川）
デイサービスセンターかねがふち（定員30名）（墨田区墨田）
デイサービスセンターなの花（定員30名）（江東区大島）

ファミリーケア立石：訪問介護（葛飾区東立石）
 ファミリーケア北千住：訪問介護（足立区千住仲町）
 ファミリーケア柳原：訪問介護（足立区柳原）
 ファミリーケア西新井：訪問介護（足立区西新井栄町）
 ファミリーケア綾瀬：訪問介護（足立区東和）
 ファミリーケアすみだ：訪問介護（墨田区墨田）
 ファミリーケア新小岩：訪問介護（江戸川区松島）
 ファミリーケア葛西：訪問介護（江戸川区西葛西）
 ファミリーケア大島：訪問介護（江東区大島）
 ファミリーケア深川：訪問介護（江東区東陽町）
 ファミリーケア訪問入浴：訪問入浴介護（足立区千住大川）

1 2月 認知症デイサービスよりみち（定員 11 名） 開設（足立区柳原）

■ 2007年

1月 広報紙「住みなれたまちで」創刊

7月 本部事務局移転（足立区千住曙町）

■ 2008年

3月 こばとの森保育園 10 周年記念誌「たからもの 子どもたちが豊かに育つために」発行

4月 地域包括支援センター青戸 開設（葛飾区青戸）※高齢者総合相談センター青戸

4月 ファミリーケア花千寿：訪問介護 開設（足立区千住大川）

4月 よりみちの家 開設（足立区柳原） ※福祉複合施設

小規模多機能サービスよりみちの家（定員 18 名）

高齢者グループリビングよりみちの家：高齢者住宅（5 室） 2 事業所開設

認知症デイサービスよりみち 移転（定員 12 名）

4月 小規模多機能サービス馬渡さん家（定員 18 名） 開設（三郷市鷹野）

4月 はやぶさ学童保育クラブ（定員 30 名） 開設（葛飾区金町）

4月 ファミリーケア立石：訪問介護 移転（葛飾区東立石）

5月 ファミリーケア水元公園：訪問介護 開設（葛飾区水元）

5月 （常務理事交代：菊地 雅彦）

■ 2009年

1月 ファミリーケア深川：訪問介護 廃止 ※ファミリーケア大島に統合

1月 ファミリーケアすこやか：訪問介護 休止

2月 ファミリーケア花千寿：訪問介護 廃止 ※ファミリーケア北千住に統合

1 2月 ファミリーケアあおと（旧名称ファミリーケアすこやか）再開

■ 2010年

4月 東金町小ひよどり学童保育クラブ（定員 50 名）開設（葛飾区東金町）

5月 あおと介護保険相談室：居宅介護支援 開設（葛飾区青戸）

5月 地域包括支援センター青戸 亀有分室 開設（葛飾区亀有）

※高齢者総合相談センター亀有

6月 ※理事長交代 第4代：中山 美千代

1 2月 業平医療福祉会館 開設（墨田区業平）

※医療福祉複合施設（医科診療所・訪問看護ステーション併設）

グループホームすこやかの家業平（定員 9 名）

小規模多機能サービスすこやかの家業平（定員 18 名） 2 事業所開設

■ 2011年

9月 葛飾やすらぎの郷開設 10 周年祝賀会

葛飾やすらぎの郷開設 10 周年記念誌「時代を拓く施設づくり」発行

■ 2012年

2月 あおと介護保険相談室：居宅介護支援 移転（葛飾区青戸）

7月 介護相談室みずもと：居宅介護支援 開設（葛飾区水元）

1 1月 在宅サービスセンター葛西：通所介護 廃止 ※小規模多機能に事業転換

■ 2013年

1月 小規模多機能サービスすこやかの家業平 廃止 ※複合型サービスに事業転換

2月 複合型サービスすこやかの家業平（定員 24 名） 開設（墨田区業平）

※小規模多機能サービスから事業転換

2月 すみれ訪問看護ステーション 開設（墨田区業平） ※健和会から譲渡

- 2月 すこやかの家かねがふち 開設（墨田区墨田） ※福祉複合施設
 ケアハウスかねがふち（定員 20 名）：都市型軽費老人ホーム 開設
 デイサービスセンターかねがふち 移転
 ファミリーケアすみだ：訪問介護 移転
- 2月 小規模多機能サービス葛西みなみ（定員 25 名） 開設（江戸川区南葛西）
- 4月 八潮かえで保育園（定員 85 名） 開設（八潮市大瀬）
- 2014年
- 3月 金町学童保育クラブ 休止 ※建替えのため
- 7月 千住大川デイサービスセンター：通所介護 廃止
- 9月 ファミリーケア北千住：訪問介護 移転（足立区千住大川町）
- 1 2月 デイサービスセンターなの花：通所介護 廃止
- 2015年
- 2月 金町学童保育クラブ 再開
- 2月 はやぶさ学童保育クラブ 廃止 ※再開した金町学童保育クラブに統合
- 2月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 定員区分変更
 （定員：入所 84 名、ショートステイ 12 名）
- 3月 介護相談室やなぎしま：居宅介護支援 開設（江東区業平）
- 3月 すこやか福祉会 5 ヶ年計画（2015 年～2019 年）策定
- 5月 ファミリーケア北千住：訪問介護 廃止 ※ファミリーケア柳原に統合
- 8月 高齢者総合相談センター亀有（地域包括支援センター青戸亀有分室）移転
 （葛飾区亀有）
- 1 2月 株式会社ファミリーケアからの介護事業所運営移管により 7 事業所開設
 デイサービスセンターなごみ（定員 30 名）（三郷市鷹野）
 デイサービスセンター采女の里（定員 33 名）（三郷市采女）
 ファミリーケアみさと：訪問介護（三郷市鷹野）
 ファミリーケア戸ヶ崎：訪問介護（三郷市戸ヶ崎）
 ファミリーケアみさと北：訪問介護（三郷市采女）
 ファミリーケア松戸：訪問介護（松戸市馬橋）
 ファミリーケア八潮：訪問介護（八潮市中央）
- 1 2月 ファミリーケア柳原：訪問介護 移転（足立区柳原）
- 2016年
- 4月 ファミリーケア立石：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設
- 4月 ファミリーケア芝：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設
- 5月 ファミリーケアあおと 立石営業所 開設
- 5月 ファミリーケアみたて 芝営業所 開設
- 7月 ファミリーケア松戸：訪問介護 廃止
- 9月 ファミリーケア西新井：訪問介護 廃止
- 2017年
- 3月 子ども食堂「カフェひろば」開始（葛飾区東金町）
- 4月 おおぞ学童保育所（定員 80 名）開設（八潮市大瀬）※八潮市から指定管理者受託
- 8月 ファミリーケア綾瀬：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設
- 9月 ファミリーケア柳原 綾瀬営業所 開設
- 9月 苦情対応第三者委員会スタート
- 1 0月 介護事業部組織再編 サービス事業部制からエリア事業部制に再編
 葛飾エリア、足墨エリア、湾岸エリア、埼玉エリアの 4 つのエリアでスタート
- 1 2月 ファミリーケア大島：訪問介護 移転（江東区大島）
- 2018年
- 3月 介護相談室みずもと：居宅介護支援 廃止 ※あおと介護保険相談室に統合
- 3月 東京都港区高齢者集合住宅生活援助員業務 受託終了
- 4月 野のはな保育園（定員 80 名） 開設（足立区西加平）
- 4月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 定員区分変更
 （定員：入所 88 名、ショートステイ 8 名）
- 4月 介護職員学業保障制度開始：2 名入職（千住介護福祉専門学校入学）

- 5月 複合型サービスすこやかの家業平 廃止 ※6月に健和会に譲渡
すみれ訪問看護ステーション 廃止 ※6月に健和会に譲渡
介護相談室やなぎしま：居宅介護支援 廃止
- 6月 すこやか福祉会20周年記念誌「創立20年の軌跡」発行
- 7月 すこやか福祉会20周年記念講演・祝賀会（テクノプラザかつしか）
すこやか福祉会20周年記念誌「子育て応援ブックレット-たからもの」発行
- 9月 複合施設TPGケアテラスよまき 開設（三郷市鷹野）
小規模多機能サービス馬渡さん家 移転
ファミリーケア戸ヶ崎：訪問介護 移転・名称変更：ファミリーケアたかの

■2019年

- 2月 グループリビングよりみちの家 廃止 ※3月に保健医療福祉協同組合に譲渡
- 3月 ファミリーケアあおと立石営業所：訪問介護 廃止
※翌月、ファミリーケアあおとに統合
- 4月 ファミリーケアあおと：訪問介護 移転（葛飾区青戸）
- 4月 昨年度に引き続き介護職員学業保障制度実施
：3名入職（千住介護福祉専門学校入学）
- 4月 ファミリーケア新小岩：訪問介護 廃止 ※翌月、ファミリーケア船堀に統合
- 5月 ファミリーケア葛西：訪問介護 移転・名称変更：ファミリーケア船堀
（江戸川区東小松川）

■2020年

- 6月 かばらデイサービスセンター：通所介護 廃止